

八幡の古地図

- ① 江戸時代後半に作られた地図である。それぞれの村の石高と郷倉が記入されており、道にも距離が示されている。現在の地図と殆ど変わらない正確さである。

測量技術は、既に現在に近かったものと思われる。

- ② 村ごとに色分けされているが、濃く塗られているのは東城浅野家御給地の保田・川鳥・田殿・菅の各村であり、薄いところの森・田黒・請（受）原の各村は、広島藩の支配地（明知）であると分かるようにしてある。

